

# 鳥取県・現地体験レポート

## 1. 活動概要

### 『創立者出身地への旅～明治大学と鳥取を繋ぐ道』

東京からスタートし、「青春18きっぷ」を使用しながら岸本辰雄の上京ルートとされている道のりをたどり、その出発地点とされている米子に集合（飛行機や新幹線は使用しませんでした）。

米子からは岸本辰雄の生家があった鳥取市に向け、主に徒歩と路線バスで鳥取県内を横断。道中は住民、観光客にアンケートやインタビューを行いながら進み、岸本辰雄胸像前をゴールとしました。

ゴール翌日はインタビューやアンケートの結果をまとめ、報告会を行いました。報告会には県庁8名・市役所3名・校友7名・新聞取材1名が来場し、学生が発見した鳥取の魅力について発表を行いました。その後は、大学生が地域おこしに関わっている用瀬町を訪ね、県内学生と地方創生をテーマに意見交換会や懇親会を行いました。

詳細は、参加者がまとめた次ページ以降の成果物をご覧ください。

## 2. 現地体験スケジュール

- 8月28日（月） 米子駅（県西部）集合 ※参加者は27日から出発
- 29日（火） 県中部（湯梨浜町）へ向け、徒歩・路線バス横断開始
- 30日（水） 県東部（鳥取市）へ向け、徒歩・路線バス横断。胸像前ゴール。
- 31日（木） 県庁にて報告会、用瀬町で町歩き・カヌー体験、鳥取大学・鳥取環境大学生との交流・意見交換会
- 9月 1日（金） 市内にて魚のさばき方体験、解散



米子から路線バスと徒歩で胸像前を目指す



道中のインタビュー調査の様子



ゴールの岸本辰雄胸像前で撮影



ゴール後の懇親会



現地体験の報告会（鳥取県庁）



用瀬町での学生交流会



「カヌー体験」や「魚さばき体験」を通じて鳥取の魅力を満喫

